

スマイルシティ都城 創生予算

平成28年度当初予算が成立しました。昨年度に引き続き、都城市が持つ「3つの宝」をより一層輝かすための事業や都城市をこれまで以上に対外的にPRする事業、人口減少防止対策、新市誕生10周年記念事業を推し進めるとともに、新たに「まち・ひと・しごと創生総合戦略」などに重点的に予算を配分。「南九州の拠点都市＝リーディングシティ」の確立と「笑顔あふれるまち＝スマイルシティ都城」の実現を推進します。

◎問い合わせ 財政課 ☎23-2113



平成28年度当初予算の基本的な考え方

市では「南九州の拠点都市＝リーディングシティ」の確立と「笑顔あふれるまち＝スマイルシティ都城」の実現を目指した予算を編成。国・県との連携を強化しながら、本市が持つ「3つの宝」をより一層輝かす事業や人口減少防止対策などに加え、「まち・ひと・しごと創生」総合戦略に重点的に予算を配分しました。

併せて、市の負担の低い地方債を活用することで、本市の実質的な返済額を低減しています。

平成28年度当初予算の概要

平成28年度の一一般会計当初予算は、790億9,000万円で前年度に比べ39億7,000万円の増額となりました。また、一般会計と特別会計、企業会計を合わせた全ての会計予算総額は1,312億7,357万円で、44億4,395万円の増額となっています。

平成28年度末の市債残高見込み額は、合併直前の平成17年度末に比べて202億円減少し、1,119億円となっています。また、市の負担割合の低い市債へのシフトを行うことで、着実に財政健全化を進めています。

平成28年度当初予算の姿 ～スマイルシティ都城・創生予算～

○マニフェストを踏まえた予算配分

- 一一般会計：790.9億円(前年度比5.3%増)

主な特徴

- 都城市が持つ「3つの宝」を、より一層輝かす！
- “都城市”をこれまで以上に対外的にPR！
- 人口減少防止対策
- 新都城市誕生10周年記念事業
- “まち・ひと・しごと創生”総合戦略

※特別会計：485億円(同1.5%増)、企業会計：36.8億円(同▲5.6%)、全会計：1,312.7億円(同3.5%増)

○財政健全化を引き続き堅持

- 市債残高の純減(既発行債の繰上償還)
平成17年度末：1,321億円→平成28年度末：1,119億円(▲202億円)
- 本市負担の低い市債(臨財債・合特債)へのシフト
平成17年度末：8%→平成28年度末：49%((臨財債+合特債)/市債残高)



市債の実質的な返済額の低減！

平成28年度当初予算の基本的な考え方

平成25年度

- 都城市が持つ「3つの宝」を、より一層輝かす！
- ①農林畜産業
- ②地の利
- ③次世代を担う子どもたち
- マニフェストを踏まえた予算配分と財政健全化の両立！
- 国・県とのさらなる連携強化！

平成26年度

“都城市、をこれまで以上に対外的にPR！

平成27年度

- 人口減少防止対策
- 新都城市誕生10周年記念事業(27～28年度)



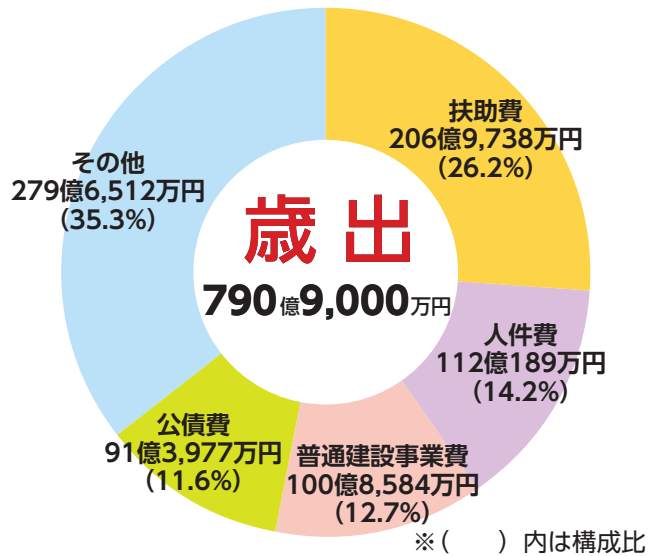
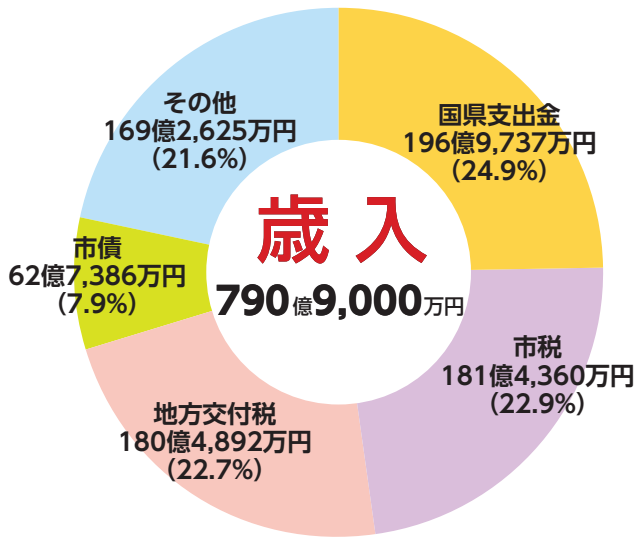
平成28年度

“まち・ひと・しごと創生、総合戦略



- “南九州の拠点都市＝リーディングシティ、の確立！
- “笑顔あふれるまち＝スマイルシティ都城、の実現！

平成28年度 当初予算

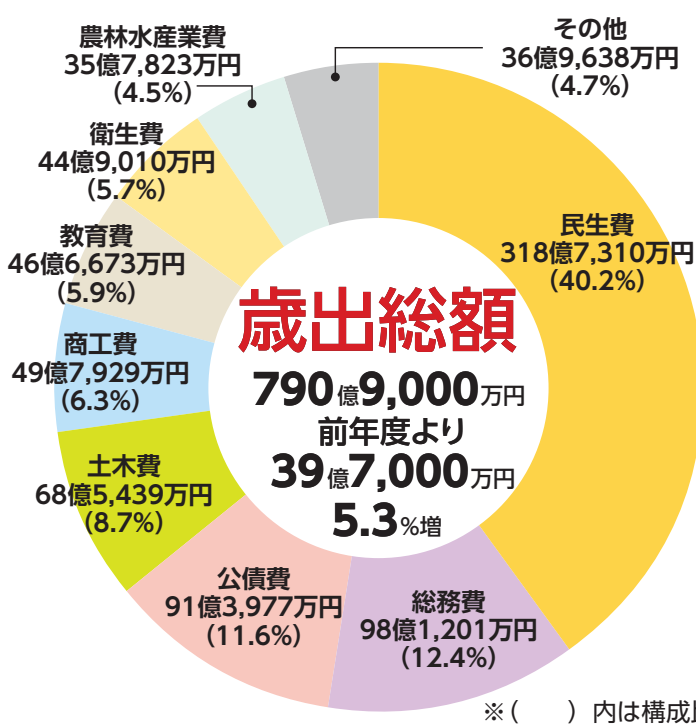


一般会計歳入歳出総額 790億9,000万円
(対前年度比 5.3%増)

用語の説明

- 地方交付税…国税の一定割合を交付する基準により国が交付する税
- 市債…建設事業や災害復旧事業などの財源となる借入金
- 扶助費…生活保護や児童・高齢者福祉事業などに要する経費
- 公債費…市が発行した市債(借金)返済のための経費

歳出の目的別分類の状況(一般会計)



<p>民生費</p> <p>安定した社会生活を保障するために必要な経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所の運営や委託などの事業 ・障がい者福祉サービスの給付事業 	<p>総務費</p> <p>庁舎管理や電算処理などに要する経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合文化ホール駐車場整備事業 ・社会保障・税番号制度システム整備事業
<p>公債費</p> <p>公共施設の整備をするために借りた地方債を返済するための経費</p>	<p>土木費</p> <p>社会基盤の整備や維持管理に要する経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路の舗装やガードレール設置などの経費 ・鷹尾都原線整備事業
<p>商工費</p> <p>商業や工業の振興に要する経費で、観光や企業立地などの経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちなか活性化プラン事業 ・スポーツランド都城推進事業 	<p>教育費</p> <p>校舎の建設や維持管理、図書館などの教育施設の運営に必要な経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東小学校建設事業 ・大島島田遺跡整備事業

用語の説明

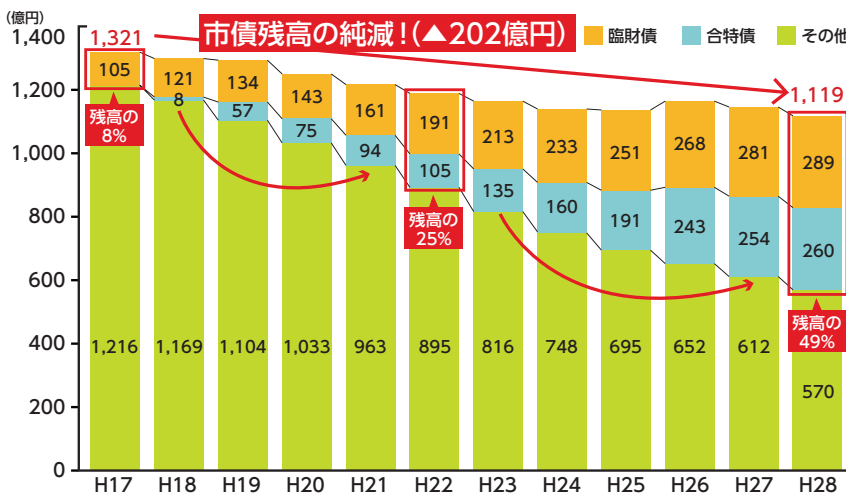
- 衛生費…保健衛生や清掃業務など生活環境の維持改善に必要な経費
- 農林水産費…農林畜産業の振興や農道整備などの経費

都城市の家計簿

～予算を月額20万円の家計簿に置き換えた場合～

収入			支出		
項目	金額(円)	割合(%)	項目	金額(円)	割合(%)
給料(市税など)	70,538	35.3%	教育費、医療費(扶助費)	52,339	26.2%
パート収入(国県支出金)	49,810	24.9%	子どもへの仕送りなど(繰出金、貸付金、補助費など)	38,423	19.2%
父母からの仕送り(地方交付税)	45,442	22.7%	光熱水費、日用品など(物件費)	30,558	15.2%
預金の取り崩し(基金繰入金)	18,345	9.2%	食費(人件費)	28,327	14.2%
ローンの借り入れ(市債)	15,865	7.9%	家の修理、車の購入など(投資的経費、維持補修費)	27,062	13.5%
合計	200,000	100%	住宅ローン返済(公債費)	23,112	11.6%
			預貯金(積立金)	179	0.1%
			合計	200,000	100%

市債残高の推移



負担割合の低い市債を活用!

新規の借入金は、市の負担割合の低い地方債を活用することで、市の実質的な借金を減らしています。

● 臨時財政対策債

普通交付税の交付額を減らす代わりに、市が発行できる地方債。借入金の元金と利子は国の普通交付税で100%措置されます。

● 合併特例債

合併後15年間発行できる地方債で、借入金の元金と利子は、国の普通交付税で70%措置されます。

本市の財政健全度

自治体の財政の健全度を示す財政健全化4指標。平成25年度、26年度決算では、このうち実質赤字額と連結実質赤字額、将来負担額は生じませんでした。

平成26年度の実質公債費比率は、平成25年度決算と比較して改善していて、国の示す判断基準を大幅にクリアしています。

市では、今後も引き続き財政健全化に努めます。

● 実質公債費比率

市の自由になる歳入のうち、全会計の借入金の返済に充てた割合。この指標が25%を超えると、新たな借り入れは国の許可が必要になります。

● 将来負担比率

家計に例えると、給与収入の何年分の借入金があるのかを表した指標。350%を超えると国からの指導があります。

本市の財政健全化4指標の数値

		H25	H26	早期健全化基準	財政再生基準
財政健全化4指標	実質赤字比率	-	-	11.41%以上	20.0%以上
	連結実質赤字比率	-	-	16.41%以上	30.0%以上
	実質公債費比率	6.60%	6.40%	25.0%以上	35.0%以上
	将来負担比率	-	-	350.0%以上	-

「3つの宝」 をより一層輝かす

本市が持つ3つの宝「農林畜産業」「地の利」「人間力あふれる子どもたち」をより一層輝かせるため、昨年度に引き続きさまざまな事業に取り組みます。

※は、ふるさと納税を活用した事業です

「農林畜産業」の振興

●6次産業化推進事業

【予算額】5,434万円

●全国和牛能力共進会对策事業

【予算額】7,701万円

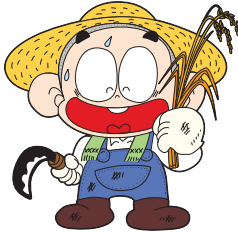
●海外販路開拓支援事業

【予算額】238万円

●農業後継者等支援事業

【予算額】1,140万円

本市の農林畜産業を維持し、さらに発展させていくために、就農直後の農業後継者や新規就農者を一定期間支援します。



●全日本ホルスタイン共進会 出品対策事業

【予算額】566万円

平成32年に本市で開催される第15回全日本ホルスタイン共進会で、上位入賞を目指す酪農家を支援。人工授精にかか



「地の利」の活用

●都城志布志道路整備関連事業

【予算額】726万円

●山之口SASスマートIC関連事業

【予算額】1億1,030万円

●山之口SASスマートIC活用促進事業

【予算額】1,333万円

本年度開通予定の山之口SASスマートIC。関連道路を整備するとともに、ETC車載器の設置費を補助します。また、開通記念式典などのイベントを開催します。

●基幹道路等の整備

◎街区三股線整備事業

【予算額】1億3,095万円

●鷹尾上長飯通線整備事業

【予算額】2億5,027万円

●甲斐元通線(歌舞伎橋)整備事業

【予算額】1億8,070万円

●鷹尾都原線整備事業

【予算額】2億5,000万円

●後方支援拠点都市推進事業

【予算額】373万円

●災害時拠点強化緊急促進事業

【予算額】2,475万円

南海トラフ地震などの大規模災害発生時に、後方支援都市として、負傷者の受け入れに必要な食料や医薬品などを備蓄する倉庫を、市郡医師会病院に整備します。

「人間力あふれる子どもたち」の育成

●ALITによる語学指導事業

【予算額】4,429万円

●小学校図書館ポーター配置事業

【予算額】1,452万円

●子ども読書推進事業

◎ブックプレゼント事業

【予算額】120万円

◎「絵本 都城の歴史」作成事業

【予算額】267万円

◎電子絵本製作プロジェクト

【予算額】350万円

4カ月健康相談時に絵本をプレゼント。また、本市の歴史や偉人を紹介した絵本やアニメーションを製作します。

●中学生海外交流事業

【予算額】602万円

中学生をオーストラリアの中学校に派遣し、語学力の向上を目指すとともに国際感覚に優れた人材を育成します。

●大島島田遺跡整備事業

【予算額】1億5,409万円

国内では2カ所のみ残る、平安時代前期の地方有力者の居宅である国指定史跡を、公園として保存整備。歴史に触れる学習の場と、自然に親しむ憩いの場を提供します。

●ちばな天文台 開館25周年記念事業

【予算額】240万円

開館25周年を記念して、特別企画展や国立天文台関係者による講演会を開催します。



対外的にPRするための事業

都城市をこれまで以上に

昨年度は、日本一になった都城市ふるさと納税推進事業やソラシドエア機体活用、東京モノレール車両ポスター掲示、首都圏でのPR看板設置などを実施し、本市の魅力を発信してきました。
本年度もこれらの取り組みをより一層進め、本市の魅力を全国にPRします。



●ふるさと納税推進事業

【予算額：28億6,894万円】

平成27年の寄付総額が日本一になった都城市ふるさと納税。これまで以上に多くの人が知ってもらったためのPRや、お礼の特産品の供給体制を強化します。また、市民向けの催しや都市部でのイベントを開催します。

●合宿誘致推進対策

【予算額：2,510万円】

プロスポーツチームのキャンプ受け入れや、全国トップレベルの補助制度を活用したアマチュア団体の合宿誘致を推進。市外からの誘客やスポーツ文化の振興を図ります。



●「肉と焼酎のふるさと・都城」推進事業

【予算額：1,515万円】

ソラシドエアの機体を活用した「空恋」プロジェクトや、東京モノレール車両でのポスター掲示、首都圏での看板設置など、さまざまな媒体を活用して「肉と焼酎のふるさと・都城」をPRします。

●みやこんじょPR連携店事業

【予算額：407万円】

大都市圏にある本市ゆかりの店舗などと連携し、店舗でPRを行ってもらうことで、認知度の向上や特産品の販路拡大を図ります。

●同郷人会ネットワーク事業

【予算額：28万円】

県外の同郷人会との連携を強化。そのネットワークを活用して、本市の情報を発信します。

●ラブレタープロジェクト 都城編

【予算額：732万円】

市PRロゴの制作者である書家・紫舟さんによる、書の体験イベントなどを開催します。

●山田・高崎パークゴルフ大会開催事業

【予算額：207万円】

山田町と高崎町のパークゴルフ場が共同で、初めて全国大会を開催。本市のPRを図るとともに、健康増進にも効果の高いパークゴルフの普及を図ります。

●重文指定・公開承認施設認定 記念展開催事業

【予算額：889万円】

都城鳥津邸の公開承認施設の認定と、所蔵する「琉球国王宛朝鮮国王国書」が国の重要文化財指定を受けたことを記念し、著名な国宝「島津家文書」や重要文化財などを展示し、市内外にPRします。

インタビュー みやこんじょPR連携店



株式会社 プーラビード
代表取締役 益留 誠さん

福岡で、宮崎の郷土料理などを提供しています。料理は全て手作りで、食材や焼酎もできるだけ宮崎産。店には宮崎出身者だけではなく、地元の宮崎好きな人やチキン南蛮が大好物の人、宮崎出身のアイドルのファンなども訪れます。ふるさとの都城をもっと知ってもらいたいという思いからPR連携店になりました。メインメニューに都城産の牛、豚、鶏を使用したり、店内にポスターを貼ったり、常時みやこんじょ弁で接客するなどしています。連携店になってから、「都城ってどこ?」と話題になって話が弾んだり、都城に行ったことのある人が、感想を自慢げに話したりしています。今後も、都城産の肉や野菜を使ったり、都城の話積極的にしたりして、ファンを増やしていきたいです。都城市民の皆さんも、福岡に来た際は、本場のみやこんじょ弁を語り、遊びに来てください!

福岡で、宮崎の郷土料理などを提供しています。料理は全て手作りで、食材や焼酎もできるだけ宮崎産。店には宮崎出身者だけではなく、地元の宮崎好きな人やチキン南蛮が大好物の人、宮崎出身のアイドルのファンなども訪れます。ふるさとの都城をもっと知ってもらいたいという思いからPR連携店になりました。メインメニューに都城産の牛、豚、鶏を使用したり、店内にポスターを貼ったり、常時みやこんじょ弁で接客するなどしています。連携店になってから、「都城ってどこ?」と話題になって話が弾んだり、都城に行ったことのある人が、感想を自慢げに話したりしています。今後も、都城産の肉や野菜を使ったり、都城の話積極的にしたりして、ファンを増やしていきたいです。都城市民の皆さんも、福岡に来た際は、本場のみやこんじょ弁を語り、遊びに来てください!

人口減少防止対策

若い世代が安心して子育てできる環境整備や、高齢者が生き生きと元気に生活できる健康づくり、また、移住者の定住化など人口減少防止対策事業に取り組みます。

子ども・子育て支援事業

放課後児童クラブ事業等

【予算額：3億7,806万円】

放課後児童クラブを祝吉、五十市、明和、沖水、志和池小学校区内に新たに設置し、子育て家庭をさらに支援します。



地域子育て支援拠点事業

【予算額：3,295万円】

子育て支援センターを上長飯町と高崎町に新設し、子育て世帯の支援を充実。親子の交流の場の提供や相談・援助などを行います。

子育て応援総合サイト開設事業

【予算額：481万円】

子育て全般を支援する「子育て応援総合サイト」を開設。目的や年齢、対象者別に情報を掲載するほか、施設情報や地域の子育て支援団体などの情報を提供します。

健康増進対策事業

こけなからだづくり講座

【予算額：933万円】

高齢者の転倒によるケガなどが原因の寝たきりや、閉じこもりなどに効果的な、こけなからだづくり講座を推進。会場を市内約170カ所に増やし、高齢者の健康増進に取り組みます。



さあ、歩いてみよう！

ウォーキング推進事業

【予算額：49万円】

昨年度作成したウォーキングマップを活用して、健康増進に取り組みます。

移住・定住推進事業

住宅取得資金利子補給

【予算額：500万円】

新婚・子育て世帯が、中山間地域などに住宅を新築または土地建物を購入した場合、住宅ローン利子の一部を補給し、移住を推進します。

地域おこし協力隊活用事業

【予算額：1,646万円】

地域活性化や移住・定住、婚活支援などに取り組み、地域おこし協力隊員を増員。移住施策を推進し、活性化に取り組みます。

新都城市誕生10周年記念事業／中心市街地の活性化

合併から10年を迎え、さらなる飛躍に向けた記念事業を行います。さらに、まちなかの賑わい創出に向けた取り組みを行い、中心市街地の活性化を進めます。

新都城市誕生10周年記念事業

大相撲都城場所開催支援事業

【予算額：1,206万円】

子どもから大人まで広く国民に愛される大相撲。13年ぶりに、大相撲地方巡業を本市で開催します。
日程 12月(予定)
場所 早水公園体
育文化センター



みやこんじよ花火大会開催費補助

【予算額：800万円】

毎年10月に開催される焼肉カー



ニバルと連携し、九州トップレベルの花火大会を実施。「肉と焼酎のふるさと・都城」をさらに広くPRするとともに、新たな観光客の獲得を図ります。

ふるさと都城フォトコンテスト

【予算額：55万円】

本市が持つすばらしい文化や風景などの地域資源を再発見するとともに、市民の皆さんが郷土を誇りに思う環境づくりのためのフォトコンテストを開催します。

中心市街地の活性化

中心市街地中核施設整備支援事業

【予算額：23億8,481万円】

国の補助事業を活用し、図書館や子育て世代活動支援センター、健康センター、全天候型多目的広場などの建設整備に着手。整備を進めながら、新たな都市機能をまちなかに誘導・創出し、中心市街地全体の活性化を図ります。

まちなか活性化プラン事業

【予算額：2,519万円】

昨年度実施した商店街イルミネーション事業や高校生レストラン事業など、中心市街地に賑わいを創出する事業を継続しながら、積極的に活動する市民団体などを支援する取り組みを進めます。

まち・ひと・しごと創生 総合戦略

今年度は、地方創生に向けた「まち・ひと・しごと創生」総合戦略に重点を置き、雇用創出による移住・Uターン・Jターンの促進や婚活サポーターの養成、婚活イベント開催などの少子化対策を実施します。

※国の補正予算を受け、平成27年度3月補正予算として措置した事業



●都城広域移住・定住促進 パートナーシップ事業

【予算額：3,070万円】

移住・定住の促進に重要な雇用の場の確保に向けて、都城広域定住自立圏を構成する都城市・曾於市・志布志市・三股町の3市1町が一体となって、地元企業や高校などと連携を強化。移住・Uターン促進などに取り組むとともに、若年層の転出抑制や離職率の改善を図ります。

●公民連携のまちづくりによる しごと創生事業

【予算額：3,084万円】

新たな地域経済の担い手となる起業家を育成し、地域経済の活性化を促進。また、女性のライフステージに応じた就業・創業の機会を創出し、社会で活躍しやすい環境づくりを推進します。

●焼酎産業成長加速化事業

【予算額：1,838万円】

県や県内の市町村、県酒造組合、酒造メーカーなどの団体と連携し、首都圏を中心とした消費拡大や女性などを対象にしたイベント、PR連携店での試食会などを開催。PRや消費拡大に取り組みます。その他、限定焼酎開発や体験ツアー商品造成などの事業を実施し、付加価値を高めます。

●宮崎県インバウンド対策事業

【予算額：315万円】

台湾の旅行会社を対象に、観光地などの視察やイベントでのPRブース設置、WEBサイトを活用した企画などを県と連携して取り組み、本市への訪日外国人の増加につなげます。

●クルーズ船寄港による インバウンド推進事業

【予算額：1,050万円】

クルーズ船寄港に伴う、海外からの誘客を促進するために、都城

市・宮崎市・日南市・串間市・小城市・えびの市・三股町・高原町・国富町・綾町の6市4町で構成する、県南部広域観光協議会が連携して、外貨獲得のための事業に取り組めます。

●婚活サポーター事業

【予算額：1,140万円】

独身男女の出会いをサポートする婚活サポーターの養成やワークショップの開催、市やNPOなどの団体が実施する婚活イベントの開催、情報発信の充実を図ります。

移住者の声

インタビュー



左から
小野裕之さん、玄元さん、眞理子さん

東日本大震災当時、神奈川県横須賀市に住んでいましたが、食べ物への不安から移住を考えました。知り合いもなく不安がありましたが、3年前に県内に移住し家族で農業を学びながら生活していました。

今回、都城市への移住を決めたのは、これまで以上に農業に力を入れて、農家民泊などで農業の素晴らしさを伝え、また、安全で安心な作物を育てながら料理を提供したいという思いからです。移住・定住サポーターの協力で、理想的な場所を探ことができました。移住したことで、新たなふるさとができ、これからさまざまなことに取り組みながら自然と共存し、都城での生活を楽みたいです。

地域活性化事業

●山ノ口地区【予算額：1,908万円】
地域活性化モニユメント事業

山ノ口サービスエリア内に、郷土の伝統芸能・文化をモチーフにした仕掛け時計や観光案内板を設置。郷土文化の魅力を発信します。

●高城地区【予算額：50万円】
安否確認用ポスト作成事業

四家・有水地区に住んでいる一人暮らしの高齢者を対象に、廃材を活用したポストを設置。安否確認に活用し、地域一体となって高齢者を見守ります。

●山田地区【予算額：135万円】
山田の偉人伝承事業

明治35年、農民救済のために山田村谷頭（現在の山田町）に赴いた石川理紀の功績を、創作劇で市民に発信。地域活性化と将来を担う人材を育成します。

●高崎地区【予算額：40万円】
高崎地区縁結び促進事業

独身者をつなげる結婚アドバイザーを任命し、そのスキルアップを図りながら、若者の出会いの場を提供。人口減少対策や地域活性化の促進につなげます。

市民サービスの更なる向上に向けた事業

コンビニ交付サービス事業

☑【予算額：2,674万円】

マイナンバーカードを利用して、コンビニエンスストアで住民票や証明書を取得できるように整備。市民の利便性向上を図ります。

開始時期 平成29年4月（予定）

投票率向上対策事業

☑【予算額：1,093万円】

イオンモール都城駅前と南九州大学都城キャンパス内に、新たに期日前投票所を設置。有権者の利便性を図ることで、投票率の向上を目指します。

その他の特色ある主な事業

都城運動公園整備事業（野球場）

☑【予算額：2,424万円】

安全性を確保しながら安心して利用できるよう改修工事を実施。プロ野球オープン戦や大学などの合宿誘致につなげることで、経済効果の波及を図ります。



その他 ふるさと納税を活用した事業

子ども支援

●ファミリー・サポート・センター事業

【予算額：610万円】

ファミリー・サポート・センター利用料の一部を助成。子育て家庭をサポートします。

●JFANINGプロジェクト「夢の教室」

【予算額：56万円】

夢に向かって努力することの大切さを、スポーツ選手が伝える「夢の教室」を初開催。児童生徒の健全な成長を支援します。

環境支援

●母智丘公園桜再生事業

【予算額：231万円】

「日本さくら名所100選」に選ばれた母智丘公園の桜並木を再生。桜の名所として、さらなるPRを推進します。

スポーツ・文化振興支援

●総合文化ホール駐車場整備事業

【予算額：1億4,590万円】

新たに約80台分の駐車スペースを確保することで、利便性が向上します。

長寿支援

●健康増進施設利用助成事業

【予算額：8,007万円】

健康増進施設利用割引券の対象施設に、パークゴルフ場を追加。高齢者の健康増進を推進します。

災害対策支援

●北消防署移転建設事業

【予算額：10億3,327万円】

都城IC周辺に移転整備し、安心して暮らせる地域づくりを推進。また、大規模災害発生時における後方支援機能を強化します。

人口減少対策支援

●不妊治療費助成事業

【予算額：546万円】

一般不妊治療で行われる人工授精に掛かる費用を一部助成し、経済的負担を軽減します。

その他の事業支援

●市民協働型コミュニティバス導入事業

【予算額：570万円】

庄内地区まちづくり協議会と協働でコミュニティバスを運行。高齢者などの交通手段を確保します。